

令和7年度モニタリングシート

【施設名等】

施設名	平野コミュニティセンター 平野コミュニティセンター平地上分館	位置	大洲市平野町平地25番地3 大洲市平野町平地 3655 番地
指定管理者名	平野自治会	所管課	地域振興課 Tel0893-24-2111

【施設の概要】

設置年月日	昭和63年 3月15日 平成26年 3月	構造	鉄筋コンクリート造 地上2階建 木造平屋建
設置目的	大洲市地域自治推進条例に規定する市と自治会との協働による取組その他自主的なまちづくりを進め、人々が支え合い、心豊かに暮らすことができる住み良い地域社会の実現を図る。		
施設機能	平野:会議室・図書室・憩いの間(和室)・調理室・大ホール 分館:集会室・会議室・調理室		
利用料金等	大洲市コミュニティセンター条例第10条に規定する使用料を徴収する		
開館・閉館	開館 午前8時30分 閉館午後10時		
指定管理業務内容	施設管理に関する基本協定書のとおり		
施設管理体制	センター長<非常勤職員兼務>1名、事務長<常勤職員>1名、会計<常勤職員>1名 事務(非常勤職員)1名、宿日直職員		

【施設利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
R6年度	316 人	138 人	411 人	395 人	528 人	130 人	258 人
R7年度	370 人	203 人	403 人	641 人	505 人	200 人	237 人
比較	54 人	65 人	△8 人	246 人	△23 人	70 人	△21 人
	11月	12月	1月	2月	3月	計	
R6年度	222 人	118 人	136 人	194 人	328 人	3174 人	
R7年度	274 人	254 人	214 人	288 人	296 人	3885 人	
比較	52 人	136 人	78 人	94 人	△32 人	711 人	

【指定管理者としての収入・支出(決算)】

収入内訳	収入金額	支出内訳	支出金額
前年度繰越金	20,394	維持管理費	267,004
大洲市受託金収入	624,000	事務費	108,256
施設利用料	9,050	日常清掃料(センター)	252,000
その他	24,737	日常清掃料(分館)	17,000
		清掃道具、レンタル料	10,476
合 計	678,181	合 計	654,736

※指定管理料 624,000 円

【サービス向上に向けた取り組み】

R6年度	・ふれあいステーション ウォーターサーバーや飴を設置し、地域の人の憩いの場となっている。 ・Instagram 主な行事やコミセンでの活動を投稿し、地域の人やその他多くの人に発信している。 ・ひらのコミセン便り 毎月発行しており、地域の行事や出来事、翌月の予定や情報を発信している。 R7年度からはカラー版で、写真等も見やすくし、お届けしている。 ・平野史誌制作 ・地域のまつり 祭具や神楽等を地域から集めて、コミセンで管理し、展示する(現在進行中)
R7年度	・コミセン便りはカラー版で毎月発行し、全戸(約 640 戸)配布している。 ・平野史誌が完成し、令和 8 年 5 月区長会にて全戸配布した。 ・卓球台を 1 台購入し、地域の子供たちの交流の一つとして活用されている。今年度は 4 回の利用実績がある。 ・夏休みにこども食堂を開催し、「ひらの未来塾」に参加している子供たちへ昼食を提供した。地域住民のボランティアにより運営された。7月 5 回、8 月 5 回の計 10 回実施し、小学生 335 名、中学生 149 名、合計 484 名の参加があった。

【利用者から要望と対応状況】

利用者からの苦情・要望等	利用者からの苦情・要望への対応
特になし	特になし

【指定管理者の自己検証】

1. 施設運営及びサービスの向上 利用者が安全・安心に施設を利用できるよう、施設管理及び環境整備に努めた。また、コミセン便りのカラー化やInstagramを活用した情報発信、卓球台の設置など、利用者ニーズを踏まえたサービス向上に取り組み、施設利用の促進と利便性の向上につなげることが出来た。 2. 地域交流及び地域コミュニティの活性化 地域住民が気軽に参加できる講座や交流事業を実施し、世代を超えた交流の機会を提供した。さらに、子ども食堂の開催など地域ボランティアと連携した取り組みを進めることで、地域のつながりを深め、コミュニティの活性化に寄与することができた。 3. 児童生徒の参加促進及び地域との連携。 学校や地域団体と連携し、児童生徒が地域行事へ参加する機会の充実を図った。地域住民との交流を通じて、地域への愛着やコミュニティ活動への関心を育むことができ、将来の地域活動を担う人材育成の取り組みとなった。 4. 地域文化の継承及び情報発信 平野史誌の発刊や地域の祭り道具・神楽等の展示を通じて、地域の歴史や文化を広く発信し、その継承に努めた。また、コミセン便りや各種媒体を活用した情報発信により、地域住民のコミュニティセンターへの関心や利用促進につなげることができた。 5. 今後の取り組み 利用者や地域住民の意見・要望を踏まえながら、サービス内容の充実と施設利用の促進に努めるとともに、地域の交流拠点として、誰もが利用しやすく親しまれるコミュニティセンターの運営を目指していく。
--

【施設所管課の検証・評価】

施設管理に関する基本協定書及び仕様書に基づく適切な運営管理が行われている。引き続き子供達との交流や担い手の確保など、実情に応じた取組を積極的に進めていただきたい。また、今後の改善点として施設の点検・修繕等の履歴を記録する管理簿等を整備いただきたい。また、個人情報の保護に関する規定や情報公開に関する規定の整備を進めていただきたい。